

笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広報

ならは

2026 MAR. 第674号

3

特集

令和7年度
檜葉町芸能発表会!!



●表紙PHOTO:令和7年度檜葉町芸能発表会スコップ三味線の演奏



令和7年度
檜葉町

芸能発表会!!

2月1日、檜葉町コミュニティセンターにおいて令和7年度檜葉町芸能発表会が開催されました。当日はステージと展示に18団体、150名を超える方々が参加し、音楽演奏や合唱、舞踊、詩吟、寸劇などのステージ発表、書道や水墨画、手芸研究成果などの展示と、日ごろの成果を披露しました。会場には多くの方々が訪れ、出演者には多くの声援や拍手が送られました。



参加団体

ステージ

- ◆ 市民大学合唱講座(合唱)
- ◆ 高原あかね音楽教室(ピアノ・歌)
- ◆ バトントワリング教室(バトントワリング)
- ◆ 新吉田(民謡)
- ◆ 民舞教室(舞踊)
- ◆ ならば天神太鼓うしお会(太鼓)
- ◆ スポーツ民踊(舞踊)
- ◆ 市民大学詩吟講座(詩吟)
- ◆ 藤富流華鶴会(舞踊)
- ◆ 天山流檜葉吟琇会(詩吟)
- ◆ 藤富流華和会(舞踊)
- ◆ 市民大学フラダンス講座(フラダンス)
- ◆ 旅するたたき場(寸劇・合唱)
- ◆ 松本歌謡カラオケ教室(カラオケ)
- ◆ 市民大学檜葉スコップ三味線講座(スコップ演奏)

展示

- ◆ 市民大学書道講座
- ◆ 檜葉地域史研究会
- ◆ 有志合同展示



令和7年度 子ども議会が 開催されました

1月22日、榎葉町役場議場で令和7年度榎葉町子ども議会が開催されました。
これは小学生ならではの目線で町をよくするためのアイデアを考え、議会さながらの様子で町へ質問を行うものです。
今年も榎葉小学校6年生26人が登壇し、町の食材を使用したレストランの開設や、震災や自然災害など防災意識を高めるための学習機会を増やすことなどの提案がありました。



マルト プライベート干し芋 榎葉中学生が デザイン

「榎葉町のサツマイモを日本一に」との思いから、株式会社マルトが榎葉町産のサツマイモを用いたプライベート干し芋の販売を行っています。パッケージリニューアルにあたり榎葉中学校生徒がデザインしたパッケージが採用され、2月4日に榎葉中学校で新パッケージがお披露目されました。
新パッケージのマルトプライベート干し芋「目指せ日本一」は、いわき市内マルト全店舗で販売されています。



特産品でいわきFCを応援！

2月6日、いわきFCの大倉代表と地域推進リーダーの吉崎さんが、新シーズンの開幕を前に来庁されました。町からは選手の日替りのため、一口サイズの干し芋300袋を贈呈。いわきFCからは全選手のサイン入りユニフォームをいただきました。
2月8日の開幕戦では、町長も現地で応援。白星スタートを切ることができました。今季もホームタウン榎葉町から、いわきFCを応援しましょう！



CANDLE JUNEさんによる 「手作りキャンドル ワークショップ」

2月11日、みんなの交流館ならはCANVASにて、NARAHAアンバサダーのCANDLE JUNEさんを講師に、キャンドルワークショップを開催しました。
当日は、小さなお子さんから大人まで、たくさんの方が参加し、思い思いに、世界にたった一つだけの手作りキャンドルを作りました。
また、ワークショップの後は、優しいキャンドルの灯りの中で、講師のJUNEさんたちによるクロストークが行われ、榎葉町の未来について語り合いました。



ファン フェイ ライダー 2026 FUN飛福島

1月24日～25日、台湾台北市において、福島県が主催する観光物産イベントが開催されました。2日間で1万3千人を超える来場者が訪れる中、榎葉町のブースでは干し芋、米粉サブレ、榎葉の風の販売を行い、特産品等のPRを行いました。
今後も関係各所と協力しながら、より一層の販路拡大に努めていきます。



松本さん 100歳賀寿

2月7日、松本シツエさん(山田浜)が100歳の誕生日を迎えました。
当日は、介護施設において、県知事、町長並びに老人クラブ連合会長からの賀状とともに記念品や祝金が贈呈されました。
長生きの秘訣は、「震災前にしていた畑仕事で足腰が丈夫なこと」との事でした。
これからも益々お元気にお過ごしください。おめでとございます。



全国初 東北4県15水道事業者 での共同発注が実現

2月12日、宮城県庁にて、東北4県、15の水道事業者との、衛星を活用した水道管路の漏水調査業務の共同発注に関する基本合意を締結しました。
15事業者での共同発注を行うことで、単独発注では成し得なかった大幅な「コスト削減」や「業務効率化」に繋がります。
今後も関係各所と手を取り合い、安心・安全な水道水を次世代に繋いでいくとともに、安定的な事業運営にも取り組んでまいります。

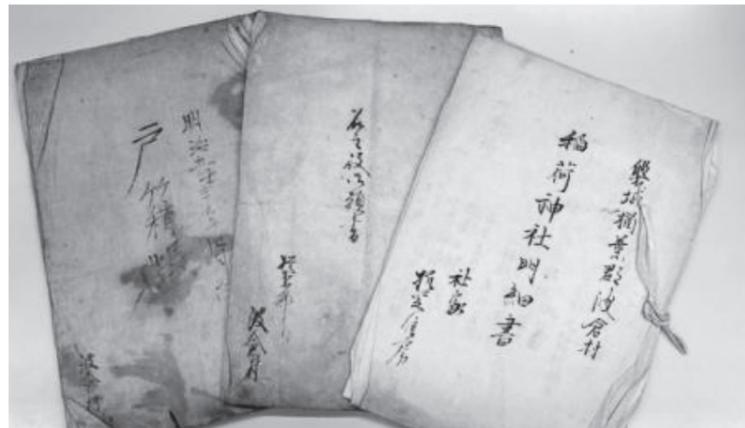


チャレンジならは 2026

2月14日、みんなの交流館ならはCANVASにて「チャレンジならは2026」が開催されました。町内外から約100名が参加し、榎葉町で生まれたスタートアップ企業による、AIを活用したサービスやWebアプリの開発事例、地域課題の解決に向けた実証の取り組みが紹介されました。学生によるフィールドワークの成果発表や体験ブースも設けられ、挑戦の広がり地域発ビジネスの可能性を共有する一日となりました。
これからも笑顔とチャレンジがあふれるまちならはの実現に向けて取り組みを進めていきます。



古文書の寄贈



2月2日、榎葉町では渡邊正純氏(波倉)より貴重な古文書29点の寄贈を受けました。明治期の戸籍や名主の交代願、稲荷神社の明細など当時の波倉の様子リアルに伝わってくる資料で、古文書は歴史を後世に伝えるための資料であることを実感させます。今後、これらの資料を活用した企画展示も開催する予定です。

東大落語会

1月25日、恒例となった東大落語会が榎葉町コミュニティセンターで行われ、東京大学落語研究会に所属する学生7名が出演しました。

「こんにやく問答」「鰻の頼問」など古典落語のほかウイットに富んだ創作漫才が披露されると、会場には大きな笑いの輪が広がりました。



おすすめ図書

(児童図書)

『うたものがたり』

いまむらあしこ/文、なかざわくみこ/絵 (BL出版)

「おきなぐさ」や「たなばたさま」といったなじみ深い日常や季節の風景を描いた、やさしくてどこか懐かしい12の小さな物語。それぞれの物語には、こどもの頃に口ずさんだ四季折々の「わらべうた」が織りこまれ、抒情的で温かみのある挿絵がそえられています。作者は児童文学作家の今村葦子さん。「人生のどんな時も、やさしい歌声と物語が響きわたりますように」という、今村さんの願いが込められた1冊です。



『うたものがたり』
いまむらあしこ/文、なかざわくみこ/絵 (BL出版)

新着図書

一般

- 『暦のことば』 山下景子/著 (翔泳社)
- 『交通トラブル六法』 藤吉修崇/著 (KADOKAWA)
- 『暁星』 湊かなえ/著 (双葉社)

児童

- 『それ犯罪かもしれない図鑑』 小島洋祐/監修、小豆だるま/絵 (金の星社)
- 『読書会を魔女といっしょにやってみたら』 濱野京子/作、米田絵里/絵 (あかね書房)
- 『ひとりぼっちのベア』 ハンナ・ゴールド/作 (静山社)

【お問い合わせ先】榎葉町図書室(榎葉町コミュニティセンター3階) ☎0240-25-4730

開室時間 9時~17時 休室日 3月9日(月)、16日(月)、20日(金・祝)、23日(月)、30日(月)

JFAアカデミー福島 令和7年度 卒校式



卒校式 卒校生前列左から 福田さん、榎さん、松井さん、原さん、鳥尾さん(林さんは進路活動のため欠席)



2020年の入学式の様子

JFAアカデミー福島女子 15期生6名が卒校

—アカデミーから、福島から、次の舞台へ—

1月30日、Jヴィレッジコンベンションホールで、JFAアカデミー福島女子卒校式が執り行われ、15期生6名が卒校しました。

東日本大震災の影響により2011年から活動拠点を福島から静岡に移しましたが、2019年にJヴィレッジが再開するなど練習環境が回復してきたことから、2024年4月に拠点を福島に戻しました。

中学・高校の6年間を寮で生活し、厳しい練習や学習カリキュラムに取り組んできました。アカデミーでの学びを糧に、これからも国内外のプロリーグや進学など、全員がサッカーの世界で、より高いレベルを目指していくことになりました。これからもみんなで応援しましょう!



JFA U-18女子サッカーファイナルズ2025 優勝



卒校生から榎葉町のみなさんへ



原 ひばり(ハラ ヒバリ)

6年間、アカデミーでサッカーだけでなく礼儀やマナーなど多くを学び、家族やスタッフ、学校や地域の支えのおかげで、全力でサッカーを楽しむことができました。感謝を忘れず努力を続け、プレーを通して夢や希望を与えられる選手を目指します。榎葉町民の皆さん、約2年間の温かい応援ありがとうございました。今後もアカデミーと原ひばりをよろしくお願ひします。



鳥尾 芽生(トリオ メイ)

アカデミーでは怪我や結果が出ない苦しい時期もありましたが、仲間や指導者、町民の方々に支えられ、最後まで諦めない大切さを学びました。今後はサッカーに関わり続け、怪我によって夢を諦める選手を一人でも減らせるトレーナーを目指し、心と身体の両面から選手を支えられる存在になれるよう努力していきます。



福田 真央(フクダ マオ)

アカデミーでの6年間は、サッカーだけでなく人としても成長できた貴重な時間でした。キャプテンとして責任と仲間の大切さを学び、苦しい時期も支え合い乗り越えました。今後は学びを生かし、より高いレベルで活躍する選手を目指します。榎葉町の皆さまの温かい支援に感謝します。本当にありがとうございました。



榎 愛花(サカキ マナカ)

6年間の寮生活の中で多くの仲間と出会い、互いに高め合いながら諦めずやり抜く力・仲間のために走る大切さを学びました。今後は高いレベルで競争しながらサッカーを追求し続け、なでこでプレーできる選手を目指し成長していきます。榎葉町の皆さんの温かい支援に心から感謝します。本当にありがとうございました。



松井 望花(マツイ モカ)

アカデミーで過ごした6年間は、厳しい練習や仲間との競争を通して継続力と感謝の気持ちを学び、技術だけでなく人として成長できた時間でした。今後はサッカーだけでなく英語力も高め、世界に通用する選手を目指します。支えてくださった榎葉町の皆さまへの感謝を胸に、結果で恩返しできるような挑戦を続けます。本当にありがとうございました。



林 椿(ハヤシ ツバキ)

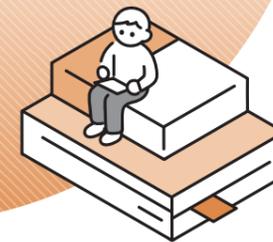
アカデミー生活を通して、心身ともに成長しました。小柄な体格ながら先輩方との練習を通して強さを身につけ、大人相手にも通用する力を養いました。将来はなでこジャパンとして世界一、スペイン女子1部での活躍を目指し、卒校後はスペイン2部に挑戦します。榎葉町の皆さまへの感謝を胸に、結果で恩返しできるような努力を続けます。

JFAアカデミー 福島女子

日本サッカー協会によるトップ選手育成機関。中学1年から6年間、全寮制による集中的トレーニングにより世界に通じるサッカー選手の育成を行います。人間的な面も重視した教育を方針に、スポーツ界、社会全体に貢献できるリーダーシップを備えた人材育成を目指しています。



学び 育ち 羽ばたく ならはスクールレポート



檜葉中学校

檜葉中恒例 パイキング給食!

1月28日、「パイキング給食」を実施しました。本校では毎年3学期に、卒業や進級をお祝いする気持ちを込めて「パイキング給食」を行い、パイキング形式のマナーの学習や食への関心を高める大切な食育の機会としています。



会場には、栄養バランスを考えた多彩な主食や主菜、色鮮やかなデザートまで、数多くのメニューが並びました。生徒たちは何日も前からこの日を心待ちにしていたようで、当日はいつも以上におかわりする姿が見られました。

給食後には、校内のあちこちから「幸せだ〜!」という満足げな声が聞こえてくる、心もお腹も満たされた一日となりました。檜葉中の給食は日本一です!



ホームページ

あおぞらこども園

楽しくバスケ! 元気に豆まき!

福島ファイヤーボンズのチアのお姉さんと交流!!

お姉さんたちと音楽に合わせて元気よくチアダンスをしたり、シュートの仕方を教えてもらったりして楽しく身体を動かすことが出来ました♪



キラキラのポンポンやミニバスケットボールに目を輝かせていた子どもたち。貴重な体験となりました。福島ファイヤーボンズの関係者の皆様、ありがとうございました。

「鬼は外ー!!福は内ー!!」

2月3日に豆まき会がありました。パネルシアターを見たり、やいかがし(柊鰯)についてのお話を聞いたりした後に、鬼さん登場!!



「鬼は外!!福は内!!」と言いながら、各クラスで豆まき(新聞紙を丸めたもの)が行われました。



Instagram

ふたば支援学校

もちつき会を開催しました!



1月16日、上井出地区の区長をはじめ有志の皆様方を招いて、全校児童生徒でもちつき会を実施しました。もち米を提供してくださった檜葉町商工会の山内さんにもお出でいただきました。

児童生徒は、臼と杵を使ったもちつきの体験は少なく、上井出地区の皆様が披露する迫力たっぷりの見本を、興味津々で見入っていました。小学部の児童は千本杵を使って、中学部と高等部の生徒は杵を使ってもちをつきました。みんなで「よいしょ!よいしょ!」と声を掛け合い、こしのあるもちがつき上がりました。

ご来校いただいた皆様方、お忙しい中ご協力をいただきまして大変ありがとうございました。



ホームページ

檜葉小学校

トマトを使った減塩料理を学びました ~食で学ぶ「健康」と「ふるさと檜葉」~

檜葉小学校では、総合的な学習の時間の一環として、檜葉町食生活改善推進員の皆さんを講師にお迎えし、トマトを使った減塩料理について学びました。



今回の学習は、「檜葉町の新たな特産品として生産が進められているトマトを、もっと身近に感じたい」、「町の人たちが健康に過ごせる食事について知りたい」という子どもたちの思いから実現したものです。当日は、調理実習だけでなく、普段の食生活における塩分摂取量についても教えていただきました。

子どもたちは、自分たちの食生活を振り返りながら、減塩の工夫や、トマトのうま味を生かすことで塩分を控えてもおいしく食べられることを実感していました。「減塩でもしっかり味があっておいしい」、「トマトの酸味が料理に合う」といった声が多く聞かれ、食に対する関心が一層高まる学びの時間となりました。

このような貴重な学習の機会を支えてくださったのが、長年にわたり地域の健康づくりに尽力されている檜葉町食生活改善推進員の皆さんです。日頃から減塩やバランスのよい食事の大切さを町内で伝えてこられた経験を生かし、子どもたちにも分かりやすく、温かくご指導くださいました。

今回の学びを通して、子どもたちは「食べることは生きること」、「健康は毎日の食事からつくれること」を実感しました。学校での学びを家庭や地域へとつなげ、これからも檜葉町の魅力や健康づくりについて考えていきます。



ホームページ

有機栽培に取り組む生産者と意見交換会を開催しました!

1月30日、町内で有機栽培に取り組まれている「松館有機有志会(会長:松本広行氏)」の皆様と意見交換会を開催しました。

意見交換会では、有機専用育苗体制の整備や資材・機械支援などの課題、学校給食への段階的導入などの意見が出されました。今後、行政・JA・生産者等が連携しながら、有機栽培の推進に向け課題等を整理したいと考えています。



甘藷栽培10年目、次のステージへ!

～収量と品質アップで経営安定～

檜葉町の甘藷栽培は、実証栽培から今年で10年目を迎えます。1アールから始める甘藷栽培を推奨したことで会員も作付け面積も年々増加傾向です。

甘藷生産者の経営努力と栽培管理のほか、県双葉農業普及所による栽培指導等、関係機関が一体となり、甘藷の一大産地化に取り組んでいます。

今後も収量と品質向上を目指しつつ、経営の安定と病害虫等予防、安全作業にも努めましょう!



※JA福島さくら檜葉町甘藷生産部会に加入された方は、農林水産課までお問い合わせください。

ゆずの木の樹形改善

～剪定にチャレンジ!～

町内には約1000本のゆずの木が植栽されており、多くのゆずの木が高木化している状況です。

3～4月は、剪定作業に適している時期です。トゲ等に注意しながら、ゆずの木の中央部に光が入るように剪定してみましょう。

また、徐々に地温があがり始めてきますので、春肥として鶏ふんや油かす、米ぬか等の有機質肥料を株元付近に施肥するのもおすすめです。

「花芽の見分け方」

ゆずの花芽は、葉の付け根にできる丸みを帯びた部分です。

剪定前によく観察し、丸い芽をなるべく残すように意識しながら剪定しましょう!



会員の草刈り作業の様子

檜葉町多面的機能広域活動保全会のご案内

当保全会では、町内の営農者が会員となり、年間を通じて地域の農地維持管理を行っています。また、会員では実施できない施設補修等は事業者に外注して対応するなど、日ごろからより良い農地の維持管理のため尽力しています。

- 令和7年度会員数 58名
- 活動場所 用水路・農道・ため池・農地等
- 主な活動内容 除草作業・土砂払い・その他補修(用水路の目地補修・畦畔補修)等



お問い合わせ先 農林水産課 ☎0240-23-6104

おうちでならいざっふ

数字は嘘をつきません。今から守ろう、檜葉の未来とあなたの身体。

これまで私たちを支えてくれた医療費の免除措置が、いよいよ終了します。お財布への影響が気になる今こそ、この変化をご自分の身体と健康を見つめ直す「再スタート」の機会にしませんか?



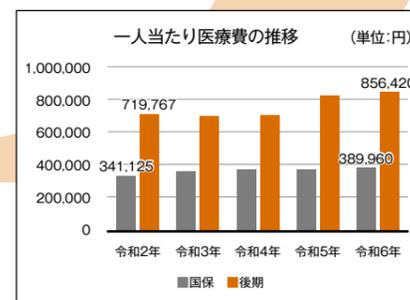
一足早く動くことが、5年後、10年後のあなたの大切な身体とお金を守る鍵となります。

グラフで見る現実①(一人当たり医療費の推移)

まずは、国民健康保険(国保)と、後期高齢者医療保険(後期)の、一人当たり医療費の推移をご覧ください。ここから見てくることは…。

- 一人当たり医療費は増加傾向にある。
- 国保の一人当たり医療費と後期の一人当たり医療費とを比べると、後期の一人当たり医療費は国保の2倍以上となっている。

また、檜葉町は、「糖尿病」と「脳梗塞」の新規患者数が福島県の平均よりも多い状況です。新規患者が多いという事実は、「今すぐ見つけて、今すぐ治療を始める」ことの大切さを教えてください。



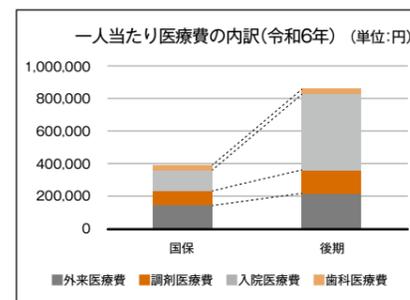
グラフで見る現実②(医療費の内訳)

それでは、医療費の内訳はどうなっているのでしょうか。

75歳を過ぎてから(後期)の医療費が2倍以上に跳ね上がる正体は「入院医療費」です。国保時代に比べて、入院医療費は3倍以上に膨らんでいます。

もしも、今いる患者さんの多くが重症化して入院してしまったら、檜葉町の医療費はどうなってしまうのでしょうか。

医療費の免除措置が終わる今、外来通院でしっかりと病状をコントロールすることは、あなた自身の身体と家計を守るだけでなく、檜葉町の財政負担を守る「賢い投資」なのです。



檜葉の未来とあなたの身体を守るための三箇条



あなたの身体を守ることが、檜葉の未来を守ることにも繋がっていることがわかりましたか。「賢い患者」になることが、あなたの身体を守り、巡りめぐって檜葉の未来を守ることになるのです。「賢い患者」になるための秘訣を3つほどお伝えします。

其の壹:診察室では「攻めの質問」を!

「お医者さんの言うことを聞くだけ」という姿勢から卒業しましょう。賢い患者は、通院の質を高める質問をします。例えば、「先生、検査数値を改善するために、私が家でできる『一番簡単なこと』は何ですか?」と聞いてみましょう。生活習慣のヒントを聞き出して、将来的な「減薬(お薬代の節約)」に繋がります。

其の貳:健診は「あなたの身体の予報図」です。

健診を受ける姿勢も見つめ直しましょう。賢い患者は、町の健診を受けることで、自分の身体の予報図として活用しています。血圧や血糖値を始めとした、検査数値の変化に敏感になることで、「生活習慣病の芽」や「重症化の芽」を早めに摘み取ることができます。定期的に通院している人も、町の健診を受けましょう。

其の参:最高の治療薬・予防薬は「身体を動かすこと」!

生活習慣病の発症予防や重症化予防に共通する秘訣は「身体を動かすこと」です。例えば、1日15分歩く時間を増やすことで、生活習慣病のリスクを下げることができると言われています。身体を動かすことが、5年後のあなたの身体を守るだけでなく、お金も守ってくれることを覚えておいてください。



「早く見つけて、早く治す」。この当たり前のことが、医療費の免除措置が終わる今、あなたとご家族を守る最大の武器になります。お伝えした三箇条、是非とも実践して、「賢い患者」「賢い生活者」になりましょう。

檜葉町物価高対応子育て応援手当について

物価高の影響が大きい子育て世帯を支援するため、児童手当を受給している保護者の方に、児童1人あたり2万円の子育て応援手当を支給する国の取組みに加え、重点支援地方交付金を活用して1万円を上乗せし、対象児童1人当たり3万円を支給します。



○支給対象児童

- 令和7年9月分以降の児童手当支給対象児童(0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童)
- 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童
注:令和7年10月1日～令和8年3月31日までの間に海外から帰国または入国した児童は対象になりません。

○支給額

対象児童1人あたり3万円(1回限り)

○支給対象者

- 令和7年9月分(令和7年9月に出生した児童については令和7年10月分)の児童手当を檜葉町から受給した方
- 令和7年10月1日から12月に出生した児童分の児童手当を令和7年12月26日までに檜葉町子ども課子育て支援係に申請し認定された方
- 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれた児童の保護者のうち、生計を維持する程度の高い檜葉町在住の方(別居監護等)

○申請が不要な方について

上記「支給対象者」のうち①及び②に該当する支給対象者については申請不要です。

※公務員の方は申請が必要です。

- ・支給方法
原則、児童手当受給口座に振り込みます。
- ・支給予定時期
令和8年3月中旬

○申請が必要な方について

次のどちらかに該当する方は申請が必要です

- 令和7年9月分(令和7年9月に出生した児童については令和7年10月分)の児童手当を勤務先から受給した檜葉町在住(令和7年9月30日現在)の公務員の方
- 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれた児童の保護者のうち、生計を維持する程度の高い檜葉町在住の方(別居監護等)
※支給対象者②に該当する方を除く

●お問い合わせ先

- ・制度に関すること
子ども家庭庁 コールセンター
☎0120-252-071(受付時間 平日 9:00～18:00)
<https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/kosodate-ouenteat>



・申請受付期間

令和8年2月10日(火)～3月31日(火)
※令和8年3月生まれの児童の申請は、4月30日(木)まで受付ます。

・申請方法

檜葉町役場窓口または郵送で申請してください
窓口:檜葉町役場 子ども課 子育て支援係
受付時間:8:30～17:15(平日)

電話:0240-23-5515

郵送:〒979-0696

福島県双葉郡檜葉町北田字鐘突堂5-6
檜葉町役場 子ども課
子育て応援手当担当 宛

・支給予定時期

令和8年4月以降、認定後順次振込みます。
※支払い通知は送付しません。通帳等でご確認ください

○留意事項

令和7年9月分の児童手当受給後の転入出や手当受給者の変更、離婚(協議中含む)による別居、配偶者からのDV被害から避難している場合などは、個別の対応が必要となります。檜葉町子ども課子育て支援係までご相談ください。

その他、申請方法や提出書類などの詳細はホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

詐欺に注意してください

子育て応援手当の支給に関して、申請内容に不明な点があった場合、檜葉町から問合せを行うことがあります。ATM(現金自動預払機)の操作をお願いすることや、支給のための手数料などの振込みを求めることは、絶対にありません。

万一、不審な電話等がありましたら、檜葉町子ども課又は警察(相談専用ダイヤル: #9110)へ御相談ください。

・申請に関すること

檜葉町 子ども課 子育て支援係
☎0240-23-5515(受付時間:平日 8:30～17:15)



サステナ通信

— ゼロカーボン・パートナー探検隊 —

ゼロカーボン・パートナー募集中
檜葉町では、ともに取り組む事業所・団体を応援しています。出来ることからの参加を歓迎します。



第2回『台所から始まるゼロカーボン』 檜葉町食生活改善推進員会

地産地消や食品ロスを出さない工夫、季節の食材を大切にすること。食生活改善推進員会がこれまで続けてきた活動は、実はゼロカーボンにもつながる取り組みです。ゼロカーボンは、特別な設備や大きな取り組みだけでなく、私たちの暮らしの中でも実践できます。



食のエキスパート 食生活改善推進員会

食品ロスを減らす知恵

イベントで大根やニンジン丸ごと1本を使い切るレシピの紹介、使い切る工夫で、食品ロスを減らします。



毎日の食卓でできる取り組み

家庭でできる、食べ切り・使い切りの工夫や旬の食材を使ったレシピをみなさんに紹介しています。

地産地消・季節の食

おいしい檜葉のとれたて野菜や旬の食材を取り入れたメニューを提案し、輸送によるCO₂削減につなげています。



地域の食文化を発信

檜葉の食材をたっぷり使ったこだわりの特製すいとん。地域の食文化を大切にした取り組みです。

●お問い合わせ先/くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

子ども家庭センターからのお知らせ

檜葉町家庭教育支援活動 ☆ふらっとながら☆

あおぞらこども園子育て支援センターで
毎週火曜日に開催しています。

何かをしながら(お茶を飲みながら、遊びながら等)、ホッと一息つける場所です。お子さんやご家族、ご友人とのんびりとした時間を過ごしたりしませんか?



どなたでもふらっと気軽にお立ち寄りください。子育て経験や保健師経験があるスタッフがいつでもお待ちしております!

※場所/あおぞらこども園 子育て支援センター

※日にち/毎週 火曜日
(3月は3日・10日・17日・24日)
※31日はお休みです

※時間/10:00～15:00

※対象/妊婦さん～子育て中の保護者の方
そのご家族、地域のみなさん😊

※申込み/なし

●お問い合わせ先/子ども課 ☎0240-23-5515
家庭教育支援活動
☎070-3798-5557

3月の子育て情報

母子手帳の発行について(妊娠届出時)

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のために、母子手帳発行(妊娠届出)時に妊婦ご本人と保健師の面談が必須となります。面談の日程を調整しますので、事前にご連絡をお願いします。

母子健康相談

子どもの育児の相談、言葉の遅れ、きょうだいや家族の事などを、町保健師、心理士、看護師が相談を受けます。

- 対象/就学前の乳幼児とその保護者
- 日時/3月12日(木) 10:00～12:00
- 会場/あおぞらこども園 子育て支援センター

乳幼児健康診査

対象のお子さんには通知を送りますので、ご確認ください。

- 対象/(4か月児健康診査)
令和7年10月～令和7年11月生まれ
(10か月児健康診査)
令和7年4月～令和7年5月生まれ
- 日にち/3月18日(水)
- 受付時間/12:30～13:00
- 会場/あおぞらこども園 子育て支援センター
- 内容/身体測定、内科診察、お口の健診、栄養相談、保健指導など

●お問い合わせ先
子ども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

道の駅ならはに新感覚スイーツ誕生!!



道の駅ならはのジェラート屋さんウィンディーランドに、新商品「お豆腐ジェラート」(450円)が仲間入りしました!

檜葉町のお豆腐屋さん「社会福祉法人希望の杜福祉会 ふたばの里」で作られた絹豆腐を使用しており、ひんやりとろける新食感でしっかりお豆腐を感じられます。

トッピングされた鯉節のうま味と醤油の風味がジェラートの甘みと絶妙にマッチ! 冷やっこ風新感覚スイーツ「お豆腐ジェラート」皆さんもぜひご賞味ください!

この他にも定番のパニラやチョコレートに加え、さっぱり一番人気「檜葉のゆず」や、さつまいもを焼いてからジェラートにした「焼き芋」など、檜葉町の特産品をふんだんに使用したオリジナルメニューを取り揃えています。

●お問い合わせ先/道の駅ならは ☎0240-26-1126

消防署からのお知らせ 3月1日から3月7日まで春季全国火災予防運動週間です!

空気の乾燥する日が多く、火災が起こりやすい時期が続きますので、火災を起こさないように一人一人の心がけが大切です。

ちょっとした不注意で火災が発生しています。皆さんの大切な生命や財産を火災から守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう!



防火対策を実施していますか?

住宅用防災機器を設置し、
あなたの命と大切な家族を守りましょう

- ◆逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**の設置と定期的な点検をしましょう。
- ◆火災に備えて、**住宅用消火器**を準備しましょう。
- ◆火災を拡大させないために、**防災品**を使用しましょう。
- ◆火災を出さないために、**安全装置付き電気機器・暖房器具**などを使用しましょう。

感震ブレーカーを設置して火災を予防しましょう!

通電火災を防ぐために

大規模地震発生後、電気復旧した際に転倒・破損した家電製品に電気が流れることで通電火災が発生する可能性があります。震度5以上の地震を検知し自動的にブレーカーを落とす「**感震ブレーカー**」を設置することは、電気が原因となる火災事故を防ぐために有効です。

【問い合わせ先】

- 富岡消防署 ☎0240-22-2119
- 檜葉分署 ☎0240-25-2119
- 浪江消防署 ☎0240-34-4111
- 葛尾出張所 ☎0240-29-2119
- 川内出張所 ☎0240-38-2119



火事と救急は
119番

檜葉町マンホールカードを配布しています

町では町内3か所(天神岬スポーツ公園・ならはスカイアリーナ前・岩沢海水浴場)にカラーデザインマンホール蓋を設置しており、その蓋をモチーフとしたマンホールカードを配布しています。

カードデザインは町のシンボリック存在の「天神岬」「木戸川の鮭」「柚子」をあらわしており、檜葉町だけのご当地マンホールカードです。

下水道マンホール蓋は丸いので、蓋が中に『落ちない』という特徴にあやかり、マンホールカードは合格祈願のお守りとしても人気を集めています。

ご自身のお守りとしてはもちろん、大切な方への贈り物としてぜひお使いください。

■配布場所

檜葉町サイクリングターミナル
フロント
(北田字上ノ原27-29)

■配布方法

おひとり様1枚です。代理での複数枚配布はできません。
8:00~17:00まで配布します。郵送や予約はできません。

●お問い合わせ先

建設課 都市計画係 ☎0240-23-6106



令和8年4月1日施行 自転車の違反にも 「交通反則通告制度 (青切符)」が適用!

これまで注意や指導が中心だった自転車の違反にも『反則金』が課されます!

■対象/16歳以上

■主な違反と反則金

普段、何気なく行っている、
こんな運転は「違反」です!!×

- スマホ等ながら運転 (12,000円)
- 信号無視(6,000円)
- 右側通行(6,000円)
- 傘さし運転(5,000円)
- 大音量でのイヤホン着用(5,000円)
- 二人乗り・並走(3,000円)



自転車は「車のなかま」

ルールを守って みんなが安全な 檜葉町へ

自転車の基本的なルール
(「自転車安全利用五則(内閣府)」)

自転車の新しい制度について
(「自転車ポータルサイト(警察庁)」)

●お問い合わせ先

くらし安全対策課 ☎0240-23-6109



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

就活ワークショップ事業『求職者カフェ』

【利用無料・予約不要】

応募書類作成や面接対策、証明写真の撮影、ビジネスマナー等、様々な就職支援をご用意しています。ご希望の支援を受けられます。若者からシニアまでお気軽にお越しください。

■場 所

いわき市中央台飯野4-2-4
いわきニュータウンセンタービル1F
※いわき市役所中央台公民館そば

■利用時間

10:00~18:00(月~金)※祝日を除く

■電話番号

☎0246-28-8706



●お問い合わせ先

ホームページ「[働きたいネット](#)」で検索
福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓
福島市中町4-20 エスケー中町ビル202号 ☎024-524-2121 FAX024-524-2125

働きたいネットの就職応援マルシェ

【出張求職者カフェ】

【参加無料・予約不要】

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます! 就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。是非お越しください。

■日 時

3月18日(水) 9:00~12:00

■場 所

ハローワーク富岡 2階会議室

■支援メニュー

- ・証明写真撮影
※撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ!
貸出用ジャケット有
- ・応募書類作成
- ・面接対策
- ・適職診断 等



はたらっこ



令和8年度 予備自衛官補募集案内

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり予備自衛官補を募集します。



募集項目	予備自衛官補(一般)	予備自衛官補(技能)
受付期間	第1回 令和8年1月22日から令和8年3月30日まで(締切日必着) 第2回 令和8年5月23日から令和8年9月10日まで(締切日必着)	
採用予定数 (参考 令和7年度)	東北方面隊管内 約110名	東北方面隊管内 約40名
受験資格	18歳以上52歳未満の者	18歳以上で国家免許資格等を有する者 (資格により年齢上限は55歳未満)
試験期日	第1回 令和8年4月 1日~4月19日(いずれか1日を指定されます) 第2回 令和8年9月12日~10月4日(いずれか1日を指定されます)	
合格発表	第1回 令和8年 6月10日 第2回 令和8年11月11日	
受験会場	細部については相双地域事務所にお問い合わせください	

※技能公募に必要な資格や受験案内の配布及び試験内容等詳細は、下記の地域事務所にお問い合わせください。

●お問い合わせ先/自衛隊福島地方協力本部 相双地域事務所
〒975-0033 南相馬市原町区高見町1丁目142-2
☎0244-23-4712



自衛官募集HP

献血のご協力をお願いします!

献血を次の日程で行いますので、皆さんの献血へのご協力をお願いします。



■日 時/3月13日(金)
9:00~12:00

■場 所/檜葉町役場 本庁舎玄関前

献血にご協力いただいた方には、町から記念品として、「健康リフレッシュボール」と「ハンドソープ(ゆーtiful)」をお渡しします。

令和8年1月4日で、献血カードや献血手帳の発行及び更新は終了しました。今後は「ラブラッドアプリ」をご利用ください。

「ラブラッドアプリ」で会員登録をすると、献血予約、事前問診回答、血液検査を確認できるようになります。さらに、予約や献血で貯まったポイントで、記念品と交換する楽しみも加わります。

是非、「ラブラッドアプリ」をダウンロードして会員登録をお願いします。



iPhoneの方



Androidの方

●お問い合わせ先
保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

3月の納税等

忘れずに納付をお願いします。



- 町県民税(随期)
- 国民健康保険税(随期)
- 固定資産税(随期)

納期限
3月31日(火)

●お問い合わせ先
町民税務課 ☎0240-23-6101

- 後期高齢者医療保険料(随期)
- 介護保険料(随3期)

納期限
3月31日(火)

●お問い合わせ先
保健福祉課 ☎0240-23-6102

※口座振替の方は3月31日(火)に引き落としとなりますので、残高の確認をお願いします。

※口座振替を申請された方は納付書で納付する必要がなく、自動で口座から引き落としされますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

障害福祉サービス等の利用者負担額減免措置終了について

東日本大震災・原発事故に伴い、障害福祉サービスや補装具費等の自己負担金分が免除されていましたが、この免除措置が令和8年3月31日で終了となります。

令和8年4月1日以降、自己負担が発生しますのでご承知おきください。

●お問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉係 ☎0240-23-6102

令和7年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」ここから調査のお知らせ

福島県立医科大学では、県民の皆さまの「こころ」や「からだ」の健康状態をお伺いし、必要に応じて適切なケアや支援を行うための調査を実施しています。普段の生活では気づきにくいご自身の「こころ」や「からだ」の変化をチェックできる機会にもなります。

今年度は調査開始から15年目の節目の調査となります。全ての調査票にキビタンのイラスト入りボールペンを同封するほか、4月末までに回答・応募された方を対象として、抽選で500名の方に13市町村の特産品をプレゼントする企画がありますので、回答をお願いします。

また、令和8年8月末までに回答をいただいた方には、結果通知書をお返しいたします。

専門的な支援が必要と判断された場合には、公認心理師、保健師、看護師等による「ここから健康支援チーム」からご連絡します。



■対象者/令和7年4月1日の時点で、檜葉町に住居登録のある方等。

■発送時期/令和8年2月上旬より発送予定

■回答方法
郵送での回答…随時
オンライン(スマートフォン・パソコン)での回答…4月末まで

●お問い合わせ先
福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5170
9:00~17:00(土日祝・年末年始を除く)

医療費が高額になったとき(国民健康保険・後期高齢者医療)

1カ月間(1日~末日)に病院や薬局の窓口で支払った医療費(保険適用分)が自己負担限度額(世帯所得額に応じて区分される)を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度があります。



- (1)高額療養費の申請
医療機関等窓口で自己負担額を全額支払ったあと、申請することで、自己負担限度額を超えた分が支給となります。
- (2)限度額適用認定証での受診
申請により「限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関等の窓口に提示することにより、自己負担限度額までのお支払いとなります。

マイナ保険証(保険証利用登録をしたマイナンバーカード)での受診の場合は、事前の手続きなく、自己負担限度額までのお支払いとなります。

※限度額区分など詳しくは、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
保健福祉課 ☎0240-23-6102

特別児童扶養手当のご案内

身体や精神に障害がある20歳未満の児童を監護している父もしくは母、または父母にかわって養育している方に対し、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。制度や対象の要件についてのご相談は、保健福祉課社会福祉係までお願いします。



令和8年度の支給額(月額)

1級の場合	58,450円
2級の場合	38,930円

所得が一定以上ある場合は支給が停止されます。手当額は、消費者物価指数等により変更される場合があります。

●お問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉係 ☎0240-23-6102

令和8年4月1日より国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の一部負担金が震災前の負担に戻ります

東日本大震災・原発事故に伴う特例減免措置(窓口での自己負担免除)は、令和8年3月31日で終了となります。

令和8年4月1日以降に医療機関等で診療等を受けた際は、自己負担割合に応じた一部負担金のお支払いが必要となります。この機会に一度ご家庭の医療費を見直され、健康にご留意のうえお過ごしください。

※上記は平成23年3月11日時点で住民票が檜葉町にあった方が対象となります。檜葉町以外の被災市町村に住所があった方については、スケジュールが異なる場合があります。ご不明な点等は、保健福祉課までお問い合わせ願います。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の一部負担割合

○国民健康保険

18歳に達する年度の末日まで	0割
19歳に達する年度の初日から70歳に達した月まで	3割
70歳に達した月の翌月(1日が誕生日の方はその月)から74歳まで	・2割 ・3割(現役並み所得者)

○後期高齢者医療(75歳以上の方と、65~74歳の方で障害認定を受けている方)

○世帯の被保険者全員の所得が28万円以下の場合	1割
○世帯の被保険者が1人⇒年金収入+その他の所得=200万円以上の場合 ○世帯の被保険者が2人⇒2人の年金収入+その他の所得=320万円以上の場合	2割
○世帯の被保険者全員の前年収入が520万円以上の場合	3割

○介護保険

65歳以上の人(第1号被保険者)	原則1割から3割
40~64歳の人(第2号被保険者)	1割

※サービス内容によっては居住費等、食費などが別途必要です。

●お問い合わせ先
保健福祉課 ☎0240-23-6102

元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。

- 日時/3月11日(水)・3月25日(水) 13:30~15:00
- 会場/みんなの交流館 ならはCANvas



リフレッシュヨガ

呼吸、ポーズ、瞑想を組み合わせ行い、普段使っていない筋肉を目覚めさせます。

- 対象者/参加要件*を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。
- 定員/25名程度
- 日程・場所/



日にち	時間	場所
3月18日(水)	① 13:15~14:15	① みんなの交流館 ならはCANvas
	② 14:45~15:45	② 地域活動拠点「まざらっせ」

- 内容/理学療法士兼ヨガインストラクターによるリフレッシュヨガ
- 持ち物/タオル・運動しやすい服装・水分(水筒またはペットボトル)・ヨガマット(お持ちの方)
- 申込方法/保健福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順にお申し込みを受け付けます。
- 注意事項/都合により日程・内容等が変更となる場合があります。
- お申し込み・お問い合わせ先/保健福祉課 保険衛生係 ☎0240-23-6102

3月・4月デュークスウォーキング教室の開催

3月・4月のデュークスウォーキング教室を次の日程で開催します。初めての方も、町民以外の方も参加できます。皆様のお越しを、お待ちしております!

- 講師/五十嵐KAZUKO氏(デューク更家公認ウォーキングスタイリスト)
- 日時・会場/3月28日(土)13:30~15:00、檜葉中学校武道館
4月18日(土)13:30~15:00、檜葉中学校武道館
- 持ち物/上ばき(スニーカー等)、飲みもの、タオル
- お申し込み・お問い合わせ先/保健福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102



広報誌郵送先の見直しについて

避難に伴い複数カ所に広報誌が郵送されている世帯などの、郵送先見直しを行っています。「広報ならは」の郵送が不要な場合は、こちらへご連絡ください。
●お問い合わせ先/政策企画課 DX推進室 ☎0240-23-6103



檜葉町住民基本台帳人口 (令和8年1月31日現在)	世帯数	3,144	男	3,239	女	3,002	人口(外国人含む)	6,241
---------------------------	-----	-------	---	-------	---	-------	-----------	-------

おめでとうございます (敬称略)

氏名	保護者名	行政区
菅波 燈	豊・悠	北田
楠 光太郎	紳太郎・加奈子	上井出

(広報ならはは2月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます (敬称略)

氏名	年齢	行政区
高橋セツ子	85	北田
川嶋利男	88	下繁岡
結城清隆	77	下小墾
佐藤タキ	100	大谷

(広報ならはは2月号掲載以降に亡くなられた方)

檜葉町 令和7年度 双葉地方水道企業団水道修理当番業者表 (令和8年3月)

指定給水事業者名	年・月	3月
北陽管工(有) 0240-27-3419		22日~28日
有吉田鉄工所 0240-27-3241		29日~31日
有山忠設備工業 0240-27-3311		8日~14日
草野建設(株) 0240-25-3121		1日~7日
有吉田設備 090-3982-3422		15日~21日

モニタリングの結果は各ホームページをご確認ください。

福島県放射能測定マップ	原子力規制委員会放射線モニタリング	食品等モニタリング	福島県農林水産物・加工食品モニタリング	双葉地方水道企業団

4月から指定ごみ袋が変わります



利便性の向上と焼却時の環境負荷を配慮するため、指定ごみ袋が下記のとおり変更になります。

- 変更になる点
 - (1)資源ごみ用の袋は、現在4種類(ビン類・カン類・ペットボトル・プラスチック製容器包装)に分かれていますが、**資源ごみ用の袋は、1種類になり、大と小の袋ができます。**
 - (2)指定ごみ袋は、マチ付きになります。
 - (3)環境への負荷に配慮し、材料の一部にバイオマスプラスチックを使用します。
 - (4)英語表記を追加するなど、指定ごみ袋のデザインが変わります。

●資源ごみ用の袋の使い方

- 手順1 資源物の種類に印をつける。
※指定ごみ袋は、資源物の種類ごとに分けて使用するため、**□に✓をつける。**
- 手順2 資源物を入れる。
※資源ごみ用の袋には1種類の資源物しか入れることができませんので、ご注意ください。
- 手順3 指定された収集日に、ごみステーションに出す。

●指定ごみ袋の販売価格等について

- ・現在の指定ごみ袋は、引き続き使用することができます。
- ・新たな指定ごみ袋は、順次、販売店の店頭で販売されます。

(指定ごみ袋の販売価格)

	大	小
燃えるごみ用の袋	500円	300円
燃えないごみ用の袋	500円	300円
資源ごみ用の袋	250円	150円(新)

(1袋10枚入り税込み価格)

- お問い合わせ先
くらし安全対策課 環境係
☎0240-23-6109
双葉地方広域市町村圏組合 環境福祉課
☎0240-22-3333

広報ならはに広告が出せます

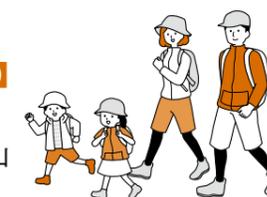
広報ならは紙面内に企業広告が出せます。人材募集や企業PRなど、使い方は様々です。町内の企業や団体は、5,000円/月額から掲載できますので、ぜひご利用ください。

- お問い合わせ先/DX推進室 ☎0240-23-6103

檜葉町スポーツ協会からのお知らせ

【軽登山・ウォーキング教室】

- 開催日/4月11日(土)
- 行先/福島市・花見山
- 参加費/5,000円
- 申込期間/3月16日(月)~3月27日(金)



【令和8年度会員募集!】

- 受付開始/3月23日(月)~
- 受付場所/檜葉町スポーツ協会事務所
(檜葉町総合グラウンド多目的運動場内)

詳細は檜葉町スポーツ協会までお問い合わせください。

- お問い合わせ・お申込み先
一般社団法人檜葉町スポーツ協会
☎0240-26-0076 FAX 0240-23-6047
MAIL sports-n@helen.ocn.ne.jp

おでかけタクシー事業値上げと利用者対象範囲の変更について

町では、タクシー助成制度に基づき、対象者がタクシーを利用して町内を移動できる「檜葉町おでかけタクシー助成事業」制度を設けています。本事業において利用料金及び対象範囲を変更するのでお知らせします。



令和7年度にタクシーの初乗り運賃が値上げになったことに伴い、令和8年4月から利用料金は普通車で500円になります。併せて、予防接種や定期健診、母子を対象とした育児教室などに積極的に参加いただくことを目的に子育て支援の充実のために、産後3か月以内の方まで対象を拡充しましたので、ぜひご利用ください。

- 変更時期/令和8年4月1日から
- 利用料金の変更/普通車500円
大型・特大1,000円
(変更前:普通車400円 大型800円)
- 対象者の変更/妊娠中又は産後3か月以内の者
(変更前:妊娠中又は産後3か月以内の者)

- 対象者
 - ・65歳以上の者
 - ・身体障がい者福祉法の規定による手帳の交付を受けた者
 - ・運転免許証自主返納者 他
- お問い合わせ先
政策企画課 ☎0240-23-6103

3月11日は「ならは防災と伝承の日」です



3.11

『ならは3.11・つなぐ・未来。』

令和8年 3月7日(土)

[場 所] 檜葉町コミュニティセンター
[時 刻] 13:00～ ※開場12:00



『ならは3.11 祈りのつどい』(追悼献花台)

令和8年 3月11日(水)

◎ここなら笑店街に献花台を設けます
[場 所] ここなら笑店街 ネット前駐車場
[時 刻] 献花10:00～17:00

お花は
会場に用意して
おります。



●14:46 小学生による鎮魂の太鼓演奏があります。(雨天中止)

お問い合わせ先 / 暮らし安全対策課 ☎0240-23-6109

檜葉町役場連絡先一覧

檜葉町役場			防災無線
●総務課 0240-23-6100	●土地改良区 0240-23-6137	●こども課 0240-23-5515	防災無線の内容を電話で確認できます。 0240-25-5805 0240-25-5806
●町民税務課 0240-23-6101	●産業創生課 0240-23-6105	●生涯まなび課 0240-25-2492	
●保健福祉課 0240-23-6102	●建設課 0240-23-6106	コミュニティセンター 0240-25-4701	
●政策企画課 0240-23-6103	●暮らし安全対策課 0240-23-6109	●あおぞらこども園 (子育て支援センター) 0240-26-0808	
●農林水産課 0240-23-6104	●出納室 0240-23-6131		
	●議会事務局 0240-23-6132		

〒979-0604 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564 E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp
[土日祝日は日直対応 8:30～17:15]



檜葉町をちょっと
のぞいてみませんか?
**檜葉町
公式 SNS**


ホームページ


LINE


Instagram


Facebook


X


YouTube